

平成29年12月12日

報道関係各位

新潟市歴史博物館
館長 小林 昌二

平成29年度 みなとぴあ歴史発見プロジェクト企画展

ワンダーランド近世新潟町

～観覧無料～

日ごろ新潟市歴史博物館みなとぴあ企画事業の広報にご協力をいただき感謝申し上げます。さて、当館では12/9(土)より企画展示室にて「ワンダーランド近世新潟町」を開催しています。この展示は“みなとぴあ歴史発見プロジェクト”という自主事業の企画展です。

現在街中で江戸時代のものを目にすることはほとんどありませんが、近年の発掘調査で地下深くには痕跡が残っていることが分かりました。その発掘調査の成果や絵図などの歴史資料から江戸時代の新潟町の繁栄を探ります。

観覧料は無料です。多くの方にお気軽にお越しいただきたいと思っております。詳しくは別紙の通りですので、周知等についてご協力下さいますようお願いいたします。

〈問合せ先〉

新潟市歴史博物館 みなとぴあ

担当： 学芸課 小林・森

TEL 025-225-6111 FAX 025-225-6130



みなとの博物館ネットワーク・フォーラム助成事業



みなとミュージロー



近世新潟町イラスト

土人形 (近世新潟町跡・新潟市文化財センター蔵) ▶



2017年12月9日(土)~2018年1月28日(日)

新潟市歴史博物館(企画展示室)

〔開館時間〕午前9時30分~午後5時

〔休館日〕12/11(月)・18(月)・25(月)・28(金)~1/3(金)・9(火)・15(月)・22(月)

ワンダー
ランド

平成29年度 みなとぴあ歴史発見プロジェクト企画展

近世新潟町

〔主催〕新潟市歴史博物館

〔みなとぴあ歴史発見プロジェクト協賛〕

N S T 日和山五合目 北陸ガス株式会社 NSG新潟総合学院

信濃川ウォーターシャトル(株) (株)本間組 (株)田中屋本店

(株)堀川 (有)新潟たけうち

〔協力〕新潟市文化財センター

◆みなとぴあ歴史発見プロジェクト◆

みなとぴあ歴史発見プロジェクトは、こどもからおとなまで幅広く、みなとまち新潟の歴史に親しみ、自ら歴史を発見する喜びを知ってもらい、まもなく開港150周年を迎える新潟の街をみんなで盛り上げていこう！という事業です。



新潟市歴史博物館

〒951-8013 新潟市中央区柳島町2-10 TEL025-225-6111 FAX025-225-6130 URL: <http://www.nchm.jp>

観覧無料

みなとぴあ歴史発見プロジェクト

ワンダーランド 近世新潟町

浜の方角に向かって山手という。町の通りが信濃川の流れと同じに弧をえがく。海岸からは砂が降ってくる。沈下しては盛り上がる。こんな不思議な新潟町が江戸時代に日本海側有数の湊町として栄えました。そして幕末には他に先んじて開港五港の一つに選ばれました。2019年1月1日には開港150周年を迎えます。

しかし、その後の都市化や大火などにより江戸時代に湊町を形づくっていた堀や建物は姿を消し、現在の街中で江戸時代のものを目にするのはほとんどできません。

その不思議な江戸時代の新潟町のようすを、近年の発掘調査の成果と、絵図や書籍などの歴史資料とを掛け合わせながら浮かび上がらせます。

○この企画展は、みなとの博物館ネットワーク・フォーラムの助成事業です。



新潟町絵図〔文政六(1823)年 当館蔵〕部分

〔展示構成〕

項目	概要
はじめに 水と砂に翻弄された新潟町！	砂丘と信濃川に挟まれた河口に築かれた新潟町は、信濃川に町の形を決められ、かつ飛んでくる砂と地盤沈下に翻弄されながら町を維持してきました。そうした自然環境と町のかかわりを紹介します。
1. 新潟町のはじまり…	新潟町は戦国期に成立したと考えられていますが、詳細は明らかではありません。その後、いく度か移転を繰り返し、明暦元(1655)年の移転を最後に現在に至っています。これまでの研究成果をもとに新潟町の起源を追います。
2. 新潟町のす・が・た	江戸時代の新潟町は、どのようなようだったのでしょうか。当時に記された絵図などを中心に湊町として栄えた新潟町の姿をうかがいます。
3. 地下から現れた新潟町!?	地上では現在の街中で江戸時代のものを目にするのはほとんどできませんが、発掘調査によって地下には江戸時代の町の痕跡が残っていることが分かりました。そのため町の広い範囲が「近世新潟町跡」という遺跡になりました。その調査成果を紹介します。
4. 江戸から明治へ移り変わる新潟町!?	明治元(1869)年の新潟開港を迎え、新潟町は開港場にふさわしい近代的な都市へと町並みが整備されました。江戸から明治にかけて変わりゆく町の姿を追います。
5. 現在の町に江戸時代をさがす！	都市化された現在の町に江戸時代のもの残っていないのか…！ それを探ってみます。



江戸時代の新潟町の町並み〔『北国一覽写』長谷川雪旦 原本:天保二(1831)年 当館蔵〕



江戸時代の屋敷跡(近世新潟町跡・新潟市文化財センター提供)

〔関連事業〕

- 展示解説会
毎週日曜日 14:00から(1時間程度)
- まちあるき「江戸時代の新潟町を訪ねる」
- 開催日時: 1月27日(土)13:30~15:00
- コース予定: みなとぴあ(企画展示室) → 広小路近世新潟町跡発掘地点 → 古町花街界隈 → 西堀寺町界隈 → 旧小澤家住宅 → みなとぴあ
- 参加費: 300円(保険料・観覧料等)
- 定員: 15名程度
- 要申込: EメールまたはFAXが往復はがきで、①事業名・②氏名・③住所・④連絡先電話番号を記入のうえ右記博物館まで。FAXの方は返信用にFAX番号もご記入ください。
締切: 1月17日(水)。応募多数の場合は抽選。
※荒天の場合は中止。

■交通案内

- 【新潟駅万代口から】
- 新潟市観光循環バス「朱鷺メッセ先回り」25分
「歴史博物館前」下車すぐ
- 路線バス「萬代橋ライン-青山方面行き」6分
「本町」下車、乗り換え徒歩5分
「東堀通線-入船営業所行き」8分
「東堀通七」から乗車8分
「歴史博物館前」下車すぐ
- 路線バス「柳都大橋線-入船営業所行き」12分
「湊町通二ノ町」下車徒歩8分
- 【市役所から】
- 路線バス「東堀通線-入船営業所行き」13分
「歴史博物館前」下車すぐ
- 【お車で】
- 新潟バイパス紫竹山ICより約15分(駐車場73台収容可能)



新潟市歴史博物館
〒951-8013 新潟市中央区柳島町2-10 Tel:025-225-6111 Fax:025-225-6130
URL:http://www.nchm.jp E-mail:museum@nchm.jp